

1章 人間 1課 性格・人柄

II. 基本練習

- 1 ①ひとがら(人柄) ②したわれ(慕われ) ③はんかん(反感) ④しゃこうてき(社交的)
⑤ぶあいそう(無愛想) ⑥ドライ ⑦はげまし(励まし) ⑧きずつける(傷つける)
⑨しんし(真摯)
- 2 (1) 父親に一反発する 個性が一際立つ 好意を一持つ
(2) 友人を一かばう 上司に一气兼ねする 個性を一磨く 人柄が一にじみ出る
- 3 (1) ①気さく ②謙虚 ③頑固 (2) ①根っから ②まさしく ③さも
- 4 (1) 独特の (2) いい加減
- 5 (1) 猛 (2) 的

III. 実践練習

- 1. [1] 1 [2] 3
- 2. [1] 3 [2] 1
- 3. [1] 3* [2] 4
* [1] 「クール」は感情に動かされない、という意味。「冷たい」という点で悪い意味で使うこともあるが、「いつも冷静である」というよい意味でも使う。
- 4. [1] 3* [2] 4*
* [1] 「温和」は、気候や人の性格に使われる。1のように特定の日の気温を表す場合や、4のようにものについて使う場合は「暖かい」を使う。
* [2] 「中傷」は事実ではないことで人を傷つける、という意味。3は事実なので不適切。2は同音異義の「抽象」が入る。

1章 人間 2課 人間関係・付き合い

II. 基本練習

- 1 ①おさななじみ(幼なじみ) ②かぞくぐるみ(家族ぐるみ) ③ぎり(義理)
④いせい(異性) ⑤うわき(浮気) ⑥みれん(未練) ⑦ひきずった(引きずった)
- 2 (1) 客を一接待する 異性に一もてる 心が一弾む
(2) 婿を一もらう 家庭を一築く 未練が一ある 慣習に一従う
- 3 (1) ①妻子 ②親族 ③来賓
(2) ①先ごろ ②急ぎよ ③余程
- 4 (1) 仲がいい (2) 風習
- 5 (1) 同士 (2) 出して

III. 実践練習

- 1. [1] 1 [2] 2
- 2. [1] 4 [2] 3
- 3. [1] 2 [2] 2
- 4. [1] 1* [2] 3*
* [1] 「配偶者」は夫婦の一方から見た他方のこと。2のようにその人を指して使う語ではない。2の場合は「妻」「家内」などを使う。3、4は「夫婦」を使う。
* [2] 「執着」は何かを手に入れようと強く思うことや、ものごとに強くこだわること。「しゅうじゃく」とも言う。1は「試着」、2は「集中」、4は「熱狂」などが入る。

2章 生活 1課 日常生活

II. 基本練習

- 1 ①かまえる(構える) ②ちあん(治安) ③しんちく(新築)
④いくじ(育児) ⑤すこやか(健やか) ⑥なやまし(悩まし)
- 2 (1) あめを一なめる そばを一すする 自然の恵みを一受ける
(2) 子供を一しつける 戸締まりを一する 家を一新築する 床が一きしむ
- 3 (1) ①補強 ②放棄 ③再建 (2) ①てきぱき ②じっくり ③一切
- 4 (1) 調べて (2) 悪いところを直す
- 5 (1) 吸い (2) 料

III. 実践練習

- 1. [1] 4 [2] 2
- 2. [1] 3 [2] 2
- 3. [1] 4 [2] 2
- 4. [1] 2* [2] 4*
* [1] 「構える」は家や店などの建物と中身を整えること。1は「こだわる」、3は「盛り付ける」、4は「改築する」などを使う。
* [2] 「本場」はあるものごとが主に行われる場所や、あるものの本来の産地。1は「現場」、2は「本番」、3は「基礎」などが入る。

2章 生活 2課 医療・健康

II. 基本練習

- 1 ①くらくら ②さむけ(寒気) ③ちょうしんき(聴診器) ④はれ
⑤てんてき(ちゅうしゃ)(点滴(注射)) ⑥ふせっせい(不摂生) ⑦おとろえ(衰え)
⑧しょほう(処方) ⑨あんせい(安静) ⑩こうねつ(高熱) ⑪かんせん(感染)

- 2 (1) 胃が—むかむかする 寒気が—する 肩が—凝る
 (2) 体力が—落ちる 高熱が—出る 発作が—起こる 細胞が—老化する
- 3 (1) ①がんがん ②ひりひり ③げっそり (2) ①増進 ②兆候 ③感染
- 4 (1) 損なって (2) 不健康
- 5 (1) 切れ (2) 体

III. 実践練習

1. [1] 3 [2] 4
 2. [1] 1 [2] 1
 3. [1] 2 [2] 4
 4. [1] 1* [2] 3*

* [1] 「頑丈」は、体が丈夫で病気になつたりけがをしにくいという意味。ものの作りが丈夫で壊れにくいという意味でも使う。2のように、能力が優れているという意味では使わない。

* [2] 「禁物」は、避けなければならないものと、またはしないほうがいいものと。法律的に禁止されているわけではないが、一般的・常識的にすべきではないと考えられることによく使う。

3章 芸術・スポーツ

II. 基本練習

- 1 ①しょひょう(書評) ②たいぼう(待望) ③しんかん(新刊)
 ④ちょうへんしょうせつ(長編小説) ⑤うちこん(打ち込) ⑥だいたん(大胆)
 ⑦びょうしゃ(描写) ⑧そうだい(壮大) ⑨どくそうてき(独創的)
- 2 (1) 盛大な—拍手 精巧な—彫刻 有望な—選手
 (2) 茶道を—たしなむ 歌を—口ずさむ 作戦を—練る 声援を—送る
- 3 (1) ①戯曲 ②文庫本 ③原文 (2) ①いかにも ②ぱらぱら ③がらんと
- 4 (1) 不調 (2) 連帯
- 5 (1) 起こった (2) 版

III. 実践練習

1. [1] 3 [2] 2
 2. [1] 1 [2] 1
 3. [1] 2 [2] 1
 4. [1] 3* [2] 4*

* [1] 「巧妙」は、技術が非常に高いという意味だが、悪い意味で使われることが多く、1には合わない。2は「器用」、4は「微妙」などが入る。

* [2] 「口ずさむ」は、歌などを自分で楽しむために、小さな声で口に出すという意味。2のように人に聞かせるときには使わない。

4章 教育

II. 基本練習

- 1 ①こうふう(校風) ②ちゅうこういつかん(中高一貫) ③よびこう(予備校)
 ④こころざし(志し) ⑤もはんてき(模範的) ⑥しょうがくきん(奨学金)
 ⑦かがいかつどう(課外活動)
- 2 (1) 文献を—講読する 専門用語を—定義する ゼミを—聴講する
 (2) 同窓会に—出席する 実技試験を—受ける 意味を—類推する 非行に—走る
- 3 (1) ①指摘 ②免除 ③授与 (2) ①つくづく ②てつきり ③延々と
- 4 (1) 短くわかりやすく (2) おしゃべり
- 5 (1) 校 (2) 金

III. 実践練習

1. [1] 3 [2] 1
 2. [1] 1 [2] 2
 3. [1] 3 [2] 2
 4. [1] 3* [2] 2*

* [1] 「志す」は、目標を決めて、それを実現しようとする。2のような場合は「望む」「願う」など、4は「試す」を使う。

* [2] 「厳格」は、規則に厳しく、不正や惰性を許さない様子を表す。1のように「細かいところまで正確にする様子」は「厳密」、4のように「注意深く厳しい様子」には「厳重」を使う。

5章 仕事

II. 基本練習

- 1 ①こよう(雇用) ②とっぱ(突破) ③ひせいぎ(非正規) ④かいこ(解雇)
 ⑤かいごふくしし・かいごし(介護福祉士・介護士) ⑥かngoし(看護師)
- 2 (1) 多忙を—極める 海外に—赴任する 商店を—営む
 (2) 仕事は—はかどる 仕事を—手掛ける 仕事に—取り掛かる 社員を—雇う
- 3 (1) ①退職 ②委託 ③公募 (2) ①着々と ②まっしぐらに ③即刻
- 4 (1) 熱中して (2) 進んだ
- 5 (1) 士 (2) 家

III. 実践練習

1. [1] 4 [2] 3
 2. [1] 2 [2] 1
 3. [1] 1 [2] 3

4. ① 2* ② 4*

* ①「おろそか」は、しなければならないことをしないでおく様子。「勉強をおろそかにする」「勉強がおろそかになる」という形で使うことが多い。1は「おろか」、3は「大らか」や「大ざっぱ」が入る。

* ②「転任」は、同じ会社などの組織の中で、勤める場所または仕事が変わること。1、2のように仕事自体を変える場合は「転職」や「転業」を使う。また、3のように、あちこち場所を変えて戦うことには「転戦」を使う。

6章 メディア

II. 基本練習

- 1 ①けんさく(検索) ②けいさい(掲載) ③かきこんで(書き込んで)
④とくしゅう(特集) ⑤ひょうばん(評判)

- 2 (1) 不評を一買う 好評を一博す 掲示板に一投稿する
(2) 雑誌を一購読する 結婚を一報じる 人気が一火になる 宣伝が一流れる

- 3 (1) ①掲載する ②更新する ③閲覧する (2) ①続々と ②早速 ③大々的に

- 4 (1) 次々に (2) 大げさ

- 5 (1) 号 (2) 生

III. 実践練習

- 1. ① 1 ② 4
2. ① 3 ② 2
3. ① 3 ② 1
4. ① 4* ② 2*

* ①「オーバー」は、実際より大げさに、誇張して、という意味。

* ②「頻繁」はものごとが繰り返し何度も行われるときに使われ、「疲れた顔をする」や「売れる」などの「回数」として数えないことがらには使わない。

7章 社会 1課 経済・産業

II. 基本練習

- 1 ①じゅうこうぎょう(重工業) ②せんいこうぎょう(繊維工業)
③けいこうぎょう(軽工業) ④じゅうじ(従事)
⑤すいさんぎょう(水産業) ⑥りんぎょう(林業)

- 2 (1) 税金を一納入する インフレを一引き起こす 提携を一結ぶ
(2) 採算が一合う 交渉が一妥結する 漁船が一停泊する 景気が一回復する

- 3 (1) ①転落 ②提携 ③低迷 (2) ①還元 ②妥結 ③譲歩

- 4 (1) 何とか (2) 徐々に

- 5 (1) 引き (2) 財政

III. 実践練習

- 1. ① 2 ② 4
2. ① 3 ② 1
3. ① 4 ② 3
4. ① 3* ② 4*

* ①「一気に」は、たくさんのものごとを一度に行う、局面などが急激に変化するという意味。4の「励む」は「一生懸命努力する、打ち込む」という継続的な行為を意味し、一度に行ったり、変化したりするという意味と合わないので、不自然な文になる。

* ②「内訳」は金額と物品の総量について内容を項目別に一覧にしたもの。

7章 社会 2課 政治・法律・歴史

II. 基本練習

- 1 ①かんわ(緩和) ②しんせい(申請) ③けいせい(形成)
④しんりゃく(侵略) ⑤いせき(遺跡) ⑥となえる(唱える) ⑦そち(措置)

- 2 (1) 声明を一発表する 法律を一施行する 軍事力を一増強する
(2) 訴訟を一起こす 憲法を一制定する 遺跡を一発掘する 旅券を一発給する

- 3 (1) ①緩和 ②採決 ③形成 (2) ①議題 ②腐敗 ③協議

- 4 (1) 栄えた (2) 全然

- 5 (1) 異 (2) 跡

III. 実践練習

- 1. ① 4 ② 2
2. ① 2 ② 3
3. ① 4 ② 1
4. ① 3* ② 1*

* ①「賠償」はほかの人に与えた損害、重大な過失や法的に罪になるようなことを償うこと。1「花瓶を～」の場合は、損害が社会的に重大な問題ではなく、個人の話し合いで解決できるので「弁償」を使う。

* ②「措置」は事態に応じて必要な手続きを取ること。3「虫歯を～」のような、病気や傷の手当てという意味では「処置」を使う。

7章 社会 3課 社会問題(格差社会・少子高齢化)

II. 基本練習

- 1 ①こよう(雇用) ②ねんきん(年金) ③かにゅう(加入) ④しょうしか(少子化)
⑤へいぎんじゅみょう(平均寿命) ⑥こうれいか(高齢化)

- 2 (1) 福利厚生を一充実させる 死亡率が一激増する 患者を一看護する

(2) 還暦を一迎える 出生率が一低下する 平均寿命が一延びる 両親が一老ける

3 (1) ①支給 ②安定 ③加入 (2) ①しっかり ②いよいよ ③めっきり

4 (1) 処理する (2) 介護

5 (1) 化 (2) 層

III. 実践練習

1. ① 3 ② 2

2. ① 3 ② 1

3. ① 4 ② 1

4. ① 3* ② 2*

* ①「てきぱき(と)」は「片付ける」「答える」「指示を出す」などの語と一緒に使い、処理や対応が素早く的確である様子を表す。

* ②「軽視」は軽く考えてその価値や影響力を認めないこと。

8章 科学 1課 自然・地形

II. 基本練習

1 ①こうおんたしつ(高温多湿) ②ぼうふうう(暴風雨) ③ふりつもる(降り積もる)
④おんだん(温暖)

2 (1) ぽっかり一月が浮かぶ どんより一空が曇る ぽつぽつ一雨が降り始める
(2) 風が一吹き荒れる 霧が一立ち込める 雪が一降り積もる 波が一打ち寄せる

3 (1) ①日没 ②山頂 ③起伏 (2) ①砂浜 ②海峡 ③海底

4 (1) なだらか (2) 限りなく

5 (1) 大 (2) 立ち

III. 実践練習

1. ① 4 ② 1

2. ① 2 ② 3

3. ① 3 ② 2

4. ① 4* ② 1*

* ①「じめじめ」は湿気が多くて不快という意味。「部屋の空気が～」など。2「暴風雨」のように、激しい雨そのものを指す場合には使わない。

* ②「斜面」は傾斜している面を表す。「山の～」「丘の～」など。

8章 科学 2課 技術

II. 基本練習

1 ①げんしりょく(原子力) ②すいりょく(水力) ③たようか(多様化)

④たいようこう(太陽光) ⑤へんかん(変換) ⑥ソーラーパネル

2 (1) 電力を一消費する 人工衛星を一打ち上げる 省エネに一取り組む

(2) 金属が一さびる 飛行機が一着陸する 鉄を一加工する エネルギーを一出力する

3 (1) ①発足 ②変換 ③処理 (2) ①ソフトウェア ②機能 ③デジタル

4 (1) 画期的 (2) 完全に

5 (1) 源 (2) 化

III. 実践練習

1. ① 2 ② 3

2. ① 1 ② 4

3. ① 2 ② 3

4. ① 1* ② 4*

* ①「携わる」は、あるものごとに関係する、あるものごとを仕事として継続的に行うという意味。「仕事に携わる」「事業に携わる」「学問に携わる」などのように使う。会社で社員が働くことについては使わない。

* ②「いまだに」は、期待されていた変化が起こらず、現在も同じ状態が続いているということを表し、その継続している状態を否定的にとらえて言う場合に使うことが多い。

9章 抽象概念 1課 時間・空間

II. 基本練習

1 ①むかい(向かい) ②めんして(面して) ③ときおり(時折) ④ぶり(振り)
⑤にわか(にわか) ⑥かねて

2 (1) 交通一網 ゴール一地点 左右一対称

(2) 夜が一更ける 正面から一衝突する 前へ一踏み出す 広い範囲に一渡る

3 (1) ①ほぼ ②依然 ③時折 (2) ①区域 ②余地 ③全域

4 (1) 一日中 (2) 急に

5 (1) 網 (2) 区画

III. 実践練習

1. ① 1 ② 3

2. ① 3 ② 2

3. ① 3 ② 3

4. ① 1* ② 2*

* ①「踏み出す」は、新しい仕事や活動などを始めるという意味のほか、足を一步前に出す、という意味にも使われる。2のように「～から」に続く場合後者の意味になり、マラソンランナーがスタート地点を出発するという意味にはならないので不適切。「～から」に続く場合、「右足から踏み出す」のように使われる。

* ②「背後」は、人やものの後方、または人、もの、出来事の後ろにあり隠れて目に付きにくい部分について

て使われる。3「コピー用紙の～」の場合は「裏面」を使う。

9章 抽象概念 2課 関係・変化

II. 基本練習

- 1 ①ごうい(合意) ②おもわく(思惑) ③よういん(要因) ④いっぺん(一変)
⑤だきよう(妥協) ⑥たいとう(対等)

- 2 (1) 仮説を一検証する よい結果を一もたらす 相手を一追い込む
(2) 治安が一悪化する 目途が一立つ 思惑が一一致する 物価が一変動する

- 3 (1) ①変遷 ②一変 ③異変 (2) ①縁 ②由来 ③由緒

- 4 (1) 大きく (2) 関係

- 5 (1) 合って (2) 結果

III. 実践練習

1. [1] 2 [2] 4
2. [1] 4 [2] 1
3. [1] 3 [2] 3
4. [1] 1* [2] 3*

* [1]「思惑」は、あらかじめ考えていたことがらや自己中心的な意図、見込みなどを表し、悪い意味で使われることが多い。2と4の場合は「意志」、3の場合は「抱負」が入る。

* [2]「妥協」は、対立したことがらについて、双方が譲り合って穏やかに解決すること。1の場合は後ろが「つく」なので、「妥協」ではなく「折り合い」を使う。

実力養成編 第2部 性質別に言葉を学ぼう

1章 意味がたくさんある言葉 1課 名詞

I. 言葉と例文

- 1 c

* 三つの文の「模様」の意味は、「外から見てわかる」という点で共通している。

II. 基本練習

- 1 (1) ①軸 ②芯 ③模様 ④様 ⑤ひび ⑥溝

- (2) ①あて ②見込み ③筋 ④隙 ⑤杵 ⑥柄

- 2 (1) ひびが一入る 見込みが一立つ 溝が一深まる

(2) 隙を一つく 杵を一超える あてに一する 溝に一はまる

- (3) 筋が一いい あてが一外れる 溝が一埋まる 芯が一強い

- (4) 隙を一ねらう 拍子を一取る 杵で一囲む 柄に一合わない

- 3 (1) × 隙 (2) ○ (3) × 拍子 (4) × 節 (5) × 見込み (6) ○ (7) ○
(8) × 杵 (9) × ひび (10) × 筋 (11) ○ (12) ○ (13) × 柄 (14) ○

III. 実践練習

1. [1] 1 [2] 3 [3] 3 [4] 1 [5] 2 [6] 4 [7] 1 [8] 3 [9] 1
[10] 1 [11] 4 [12] 1 [13] 3

2. [1] 3 [2] 4 [3] 1

3. [1] 2* [2] 1* [3] 2*

* [1] 1は「見込み」、3も「見込み」、4は「当たったら」が適切。

* [2] 2は「筋」「内容」、3は「見込み」、4は「様子」が適切。

* [3] 1は「隙」、3は「溝」、4は「ひざ」が適切。

1章 意味がたくさんある言葉 2課 動詞

I. 言葉と例文

- 1 かなう

II. 基本練習

- 1 (1) 飢え・空腹・雨風・寒さ—をしのぐ 人気・話題・優勝—をさらう
氷・岩・骨・夢—を砕く

- (2) 行事・会・吐き気・眠気—を催す 指示・協力・判断・指導—を仰ぐ
危険・人の迷惑・家庭—を顧みない 関係・消息・連絡・命—を絶つ

- (3) がん・病・毒・ウイルス—に侵される 悲しみ・涙・悲嘆・途方—に暮れる
条件・目的・道理・礼儀—にかなう 人込み・闇・忙しさに紛れる

- (4) 町・家計・企業・生活—が潤う 望み・希望・夢—がかなう

- 不安・思い・寂しさが募る 寒さ・暑さ・睡眠不足—がこたえる

- 2 (1) ①aひびいて bひびいて ②aあおぎ bあおいだ ③aもむ bもまれ

- ④aうえて bうえた ⑤aはじく bはじかれて ⑥aこたえる bこたえられ

- (2) ①aこって bこった ②aもがいて・もがき bもがいて

- ③aかすんで bかすんで ④aはかる bはかって ⑤aつのって bつる

- ⑥aもれれ bもれて

- 3 (1) × 砕いて (2) ○ (3) × 遠ざかって (4) × 控えて (5) ○

- (6) × ふるまった (7) × 弾んで

III. 実践練習

1. [1] 2 [2] 2 [3] 4 [4] 1 [5] 3 [6] 3 [7] 1 [8] 4 [9] 2

10 1 11 4 12 2 13 4

2. 1 2 2 3 3 3

3. 1 3* 2 2* 3 1*

* 1 1は「控えた」、2は「響いた」、4は「断たれて」が適切。

* 2 1は「落ちて」、3は「催して」、4は「潤って」が適切。

* 3 2は「帰ろう」「戻ろう」「引き返そう」、3は「見えるようになります」、4は「変わって」などが適切。

2章 意味が似ている言葉 1課 副詞・形容詞

I. 言葉と例文

1 (訂正例) 先生のご著書はすべて、大変興味深く 拝読しておりました。

II. 基本練習

1 (1) 大まかに—大ざっぱに あらかじめ—前もって 円滑に—スムーズに いやに—変に

(2) ろくに—十分に あえて—無理に 一切—まったく おろそかに—いい加減に

無愛想に—そっけなく

(3) ふさわしい—適切な ぞんざいな—無礼な 望ましい—好ましい

簡素な—シンプルな タフな—強い

(4) ばかばかしい—くだらない 有望な—期待できる つれない—冷たい

エレガントな—一品がいい あやふやな—はっきりしない

2 (1) ①あらかじめ ②やんわり ③もっぱら ④ことごとく

(2) ①大まかに ②すんなり ③とっさに ④交互に

(3) ①丸ごと ②終始 ③煙たく ④ろくに

(4) ①煩わしい ②シンプルな ③見苦しい ④無礼な

(5) ①著しい ②すがすがしい ③ルーズな ④紛らわしい

3 (1) 簡素な・質素な—生活・暮らし・服装 目覚しい・驚くべき—発展・進歩・働き

たくましい・タフな—人・体・生き方 つれない・冷淡な—態度・言葉・人

(2) ろくに・満足に—寝ていない・食べていない

やんわり・遠回しに—断る・反対する 鮮やかに・鮮明に—思い出す・描く

すんなり・あっさり—受け入れる・あきらめる 大まかに・大ざっぱに—言う・分ける

III. 実践練習

1. 1 4* 2 2 3 2 4 3 5 1 6 4* 7 1 8 3 9 1*

10 2 11 4 12 4* 13 1* 14 4 15 3 16 3 17 4* 18 4

19 3 20 3 21 4 22 1 23 3 24 1* 25 2

* 1 この文での「うっとうしい」は「うるさい」の意味。これと言い換えられるのは「煩わしい」だけである。「や

やこしい」には「うるさい」という意味はない。

* 6 「いやに」は程度が高いことに疑問を持つ様子を表す。「かなり」には「どうしたのだろう」という疑問の意味が含まれないので、ここでは「妙に」が適切。

* 9 「望ましい」は「期待に合っている、そのほうがいい」という意味。「ふさわしい」は、「適当である、釣り合っている」という意味。「期待する」は、「～ほうが期待する」とは言えない。

* 12 「不意に」は「予想をしていない」ときに使う。「意識せずに反射的に行動する」という意味の「とっさに」よりも「突然」のほうが適切。

* 13 「最低の条件で」という意味で使われている。「ようやく」は努力したり、時間を掛けた結果、目標・目的を達成したときに使う。

* 17 「面倒」は「手間が掛かる」の意味。「ややこしい」が適切。「うっとうしい」は「邪魔でうるさく感じる」という意味。

* 24 「もっぱら」はある一つのことに集中する様子を表す。ビールばかりを飲んでいるという意味になる。

2章 意味が似ている言葉 2課 動詞・名詞

I. 言葉と例文

1 ほめる

II. 基本練習

1 (1) メリット—よい点 一切—全部 キャリア—経歴 構想—プラン

(2) 最善—ベスト ナンセンス—無意味 あべこべ—反対 過ち—ミス 前途—将来

(3) 見合わせる—やめる うんざりする—うっとうしく思う 省みる—思い返す

果たす—達成する サポートする—助ける

(4) 放り出す—やめる こじれる—悪化する キープする—維持する

気兼ねする—気を遣う ばてる—疲れる

2 (1) ①前途 ②目途 ③構想 ④過ち

(2) ①経歴 ②行く先 ③あべこべ ④一切

(3) ①尽くす ②打ち明ける ③なじむ ④張り合う

(4) ①かなう ②おだてる ③案じる ④見逃す

(5) ①異動する ②該当する ③途絶える ④補足する

3 (1) ①(が) 込み上げる・わく ②(を) 確定する・決める ③(が) 途絶える・なくなる

④(を) 果たす・達成する

(2) ①(が) こじれる・もつれる ②(に)なじむ・慣れる ③(を) 見合わせる・中止する

④(を) 投げ出す・放り出す ⑤(に) かなう・合う

III. 実践練習

1. 1 2* 2 1 3 1* 4 1 5 2 6 4 7 2 8 2 9 4

10 4 11 4 12 2 13 1* 14 1 15 3 16 1 17 1 18 2

19 2 20 1 21 4 22 3 23 4 24 1 25 2*

* 1 「こじれる」「もつれる」は「関係、話」の場合は言い換えることができる。しかし、「病気が悪くなる」の場合は「こじれる」しか使えない。

* 3 「配置する」は「人やものを決まった位置に割り当てて置く」こと。「人員を配置する」「施設を配置する」など。「配備する」は「準備を整える」こと。「軍隊を配備する」「救急車を五台配備する」など。

* 13 「まちまち」はそれぞれが違って、いろいろであるという意味。「めいめい」は「それぞれ」と言い換えることはできるが、人に対してのみ使う語で「一人一人」の意味。

* 25 「思い出す」は「単に忘れていたことや過去のことが心に浮かぶ」ことなので、「失敗したとき」とはつながらない。

3章 形が似ている言葉 1課 漢語

I. 言葉と例文

1 過密

II. 基本練習

1 (1) 過密な一日程・ダイヤ 過剰な一反応・投資・装飾 過疎の一解消・進行・地域

(2) 簡潔な一文章・主張・発言 簡略な一流れ・報告・裁判

簡易な一修理・製造法・道具 簡素な一生活・外観・結婚式

(3) 明白な一証拠・事実・違反 明朗な一性格・歌声・青年

明快な一説明・発想・世界観 明瞭な一発音・印刷・答え

(4) 壮大な一物語・実験・計画 盛大な一拍手・式典・歓迎

絶大な一人気・効果・権力 膨大な一数・データ・資金

(5) 栄養・燃料・物資一を補給する 損害・被害・治療費一を補償する

内容・説明・資料一を補足する 商品・職員・用紙一を補充する

(6) 改革・調査・プレー一を続行する 治安・健康・生命一を維持する

香り・集中・成長一が持続する 制度・施設・種一が存続する

(7) 事件・不正・熱愛一が発覚する 心臓・喘息・咳一の発作が起きる

熱・怒り・不満一を発散する 政権・制度・組織一が発足する

2 (1) ①規範 ②規格 ③規律 (2) ①啞然 ②漠然 ③杳然

(3) ①同感 ②賛同 ③同調 (4) ①弁護 ②釈明 ③弁解

(5) ①共感 ②同情 ③共鳴

3 (1) × 規約 (2) ○ (3) × 簡略・簡素 (4) × 壮大 (5) ○

4 (1) b (2) a, b (3) c (4) a, b

III. 実践練習

1. 1 3 2 1 3 1 4 3 5 2 6 3 7 3 8 3 9 1

10 1

2. 1 3 2 2 3 2 4 3 5 2

3. 1 3* 2 4* 3 4* 4 1* 5 4*

* 1 1は「過剰」、2は「過多」、4は「過密」などが適切。

* 2 1は「簡素」、2は「簡略」「簡素」、3は「簡便」「簡易」などが適切。

* 3 1は「明快」、2は「明瞭」、3は「明晰」などが適切。

* 4 2は「継続」、3は「持続」、4は「維持」などが適切。

* 5 1は「規格」、2は「規範」、3は「規律」などが適切。

3章 形が似ている言葉 2課 和語

I. 言葉と例文

1 「おろそか」と「おごそか」を間違っている。

II. 基本練習

1 (1) はなばなしい—活躍・経歴 はかばかしい—返事・成果

(2) いたましい—事件・事故 あさましい—姿・根性 いさましい—発言・音楽

(3) なごやかな—雰囲気・表情 なめらかな—動き・肌 くだらかな—坂道・カーブ

(4) あくどい—手口・業者 あざとい—演出・文章 めざとい—子供・見つける*

(5) 集中・会話—がちぎれる 雲・鎖・手—がちぎれる 髪・麵・葉—がちぢれる

(6) 結び目・ロープ—がほどける 緊張・筋肉—がほぐれる 糸・裾・髪—がほつれる

* (4) だし、「見つける」は動詞なので、実際には「めざとく見つける」と形を変えて使う。

2 (1) ①心配り ②心残り ③心掛け (2) ①手入れ ②手際 ③手分け

(3) ①いわく ②いわば ③いわゆる (4) ①何やら ②何かと ③何分

(5) ①くるんで ②うるんで ③ひるんで (6) ①ばてる ②はける ③はてる

(7) ①ねだる ②ねたむ ③ねばる (8) ①おごそか ②おろか ③おろそか

3 (1) × ほぐれて (2) × あざとい (3) ○ (4) × 痛々しかった (5) ○

(6) × 手加減 (7) × ねらわれ

III. 実践練習

1. 1 3 2 1 3 1 4 2 5 4 6 2 7 3 8 4 9 4

10 3

2. 1 3 2 3 3 4 4 4 5 4

3. 1 2* 2 2* 3 1* 4 4* 5 2*

* 1 1は「くるまれ」、3は「うるんで」、4は「たるんで」などが適切。

- * [2] 1は「何とか」、3は「何でも」「何なりと」など、4は「どうやら」などが適切。
- * [3] 2は「あらゆる」、3は「いわば」、4は「言う」などが適切。
- * [4] 1は「のどか」、2は「すこやか」、3は「すみやか」などが適切。
- * [5] 1は「はかばかしく」、3は「はなはだしい」、4は「はでではでしい」などが適切。

4章 副詞 1課 程度、時間、頻度の副詞

I. 言葉と例文

1 むちゃくちゃ

* 「いやに」を使うと、「こんなにおいしいのは変だ」という、「おいしいこと」を不審に思う感じになる。

II. 基本練習

- 1 (1) ①ごく ②はなはだ ③すこぶる (2) ①ひとときわ ②とりわけ ③とびきり

- (3) ①とつくに ②ぼつぼつ ③かねがね (4) ①長らく ②前もって ③年中

* (1)「ごく」は、「少ない」「わずか」「近い」「親しい」などのほかに、「普通」「平凡」「一般」「平均」といった語を強調する際にも使われる。

- 2 (1) ①やたらに ②いやに ③うんと (2) ①やや ②いささか ③至って

- (3) ①とつさに ②即刻 ③すかさず (4) ①即座に ②急ぎよ ③じぎに

- (5) ①四六時中 ②再三 ③ちよいちよい

- 3 (1) × 最近・近ごろ (2) ○ (3) ○ (4) × 非常に・とても (5) × 終始

- (6) ○

- 4 (1) 思っていた (2) よかった (3) 増えた・増加した

III. 実践練習

1. [1] 4 [2] 4 [3] 1 [4] 2 [5] 4 [6] 2 [7] 2 [8] 2 [9] 4

- [10] 3

2. [1] 2 [2] 4 [3] 2 [4] 2 [5] 4

3. [1] 3* [2] 2* [3] 4* [4] 1* [5] 4*

* [1] 1は「すこく」「実に」、2は「やはり」、4は「無理に」などが適切。

* [2] 1は「相当」、3は「だんだん」、4は「断トツ」などが適切。

* [3] 1は「特別に」、2は「即座に」、3は「少なくとも」などが適切。

* [4] 2は「もしかしたら」、3は「本当に」、4は「随分」などが適切。

* [5] 1は「次に」、2は「間もなく」、3は「しばらく」などが適切。

4章 副詞 2課 後ろに決まった表現が来る副詞

I. 言葉と例文

- 1 「かるうじて」は、既に起っていることに使うので、文の終わりが「～た」「～ている」などの形になる。

この文では「～たい」となっているので、これから起こること、したいことなどに使える、「何とか」「どうにか」などに表現を変える。

II. 基本練習

- 1 (1) ①てっきり ②さも ③一向に (2) ①案の定 ②どうやら ③いかにも
(3) ①あらかじめ ②いっそ ③一概に (4) ①しいて ②かるうじて ③ことによると

- 2 (1) ①ろくに ②到底 ③一向に (2) ①あえて ②幸いにも ③危うく
(3) ①てっきり ②確か ③よもや (4) ①よほど ②どうやら ③いかにも

- 3 (1) ○ (2) × 一体 (3) × かるうじて・どうにか (4) × さぞ
(5) × 仮に・もし (6) × 危うく (7) ○

- 4 (1) 来ないらしい (2) パンさえ・パンも・何も(または、「パンしか」を取る)。
(3) 就職できた (4) 降った (5) するとしたら

III. 実践練習

1. [1] 1 [2] 1 [3] 1 [4] 4 [5] 3 [6] 3 [7] 2 [8] 4 [9] 2

- [10] 2

2. [1] 3 [2] 4 [3] 3 [4] 3 [5] 2

3. [1] 3* [2] 3* [3] 1* [4] 4* [5] 3*

* [1] 「仮に」は、現実とは異なる状態を想定する場合に使う。1の「一生懸命勉強すれば」は、条件の文で、実際に勉強するかどうかがまだ決まっていないので、既に決まっている現実と異なる状態を想定する「仮に」が使えない。2の「毎日頑張ったら」は実際に「頑張っていた」ということを表しており、現実と異なる状態を想定する文ではないので、「仮に」は使えない。4の「べきだと思います」の文は、「自分の意見」または「相手への働きかけ」を表す文で、現実と異なる状態を想定している文ではないので、「仮に」が使えない。

* [2] 1は「どうにも」、2は「絶対に」、4は「どうにか」などが適切。

* [3] 2は「一気に」、3は「一心に」、4は「一面に」などが適切。

* [4] 1は「とうとう」、2は「徹底」、3は「相当」などが適切。

* [5] 1は「一目」、2と4は「一目」などが適切。

4章 副詞 3課 まとめて覚えたい副詞・その他の副詞

I. 言葉と例文

- 1 c

II. 基本練習

- 1 (1) 逐一説明する・調べる・検討する 切に一願う・祈る・望む
俄然一元気になる・興味がわいてくる・活気が出てくる

- (2) たかだか一万円のかばん・二百年の歴史・係長になったぐらい
一躍一知れ渡る・人気作家になる・脚光を浴びる

くれぐれも一よろしくお伝えください・ご注意を・失礼のないように
 心底—あこがれる・うれしい・そう思う

- 2 (1) ①ひたすら ②極力 ③思い切り (2) ①隈なく ②ことごとく ③根こそぎ
 (3) ①大方 ②概ね ③総じて (4) ①自ずから ②ひとりでに ③自ら
 (5) ①心底 ②一心に ③根っから (6) ①たかが ②せいぜい ③たかだか
 (7) ①一斉に ②一気に ③一挙に (8) ①真に ②直に ③現に
 (9) ①悠々と ②黙々と ③転々と

- 3 (1) × 徐々に (2) ○ (3) × もともと・そもそも (4) ○ (5) × つい

III. 実践練習

1. [1] 2 [2] 1 [3] 1 [4] 3 [5] 3 [6] 3 [7] 2 [8] 3* [9] 2
 [10] 2*

* [8] 「極秘で」「内々に」はそれぞれ「外部に秘密を漏らさないで」「内部の人だけで非公式に」という意味で、複数の人の間で何かを秘密にする意味。「密かに」は、意図的に人に知られないようにして、何かをする場合に使い、一人で行う行為にも使われる。

* [10] 「本来」は、「カンニングは、本来あってはならないことだ」のように、「現状はそうでないが本当は」という意味を持ち、現状と、理想やもとの状態を比較する場合に使う。「元来」には、「もともと最初から」という意味があるが、理想やもとの状態と比較する意味はない。問題文は、「人前で話すこと」がもとから「苦手」で、「今も」「苦手」だという文で、もとの状態と現状が同じだということを表す文なので、「元来」を使う。

2. [1] 2 [2] 2 [3] 4 [4] 2 [5] 3
 3. [1] 3* [2] 4* [3] 1* [4] 2* [5] 4*

* [1] 1は「一躍」、2は「一気に」、4は「一度に」などが適切。

* [2] 1は「取りあえず」、2は「とかく」、3は「とにかく」などが適切。

* [3] 2は「かなり」「断然」、3は「ことごとく」、4は「かなり」「よくよく」などが適切。「くれぐれも」には「相手に繰り返し何かを願う」という意味があり、4のように自分の行為には使いにくい。

* [4] 1は「とても」、3は「はなはだ」、4は「およそ」などが適切。

* [5] 1は「極めて」、2は「かねがね」、3は「一生懸命に」「無理に」などが適切。

5章 オノマトペ 1課 ものの様子・人の様子①

I. 言葉と例文

1 b

II. 基本練習

- 1 (1) がくんと—下がる からりと—晴れる きらりと—輝く
 (2) じつとり—湿る ちくちく—刺さる ばんばんに—はれる こちこちに—凍る

- (3) しんと—静まり返る ぐっしょり—濡れる どんより—曇る ぐにやぐにや—曲がる
 (4) まるまると—太る じわりと—広がる ずんずん—進む ちらほら—見かける
 (5) こうこうと—光る がらんと—空く ぎゅうぎゅうに—詰め込む ぐんぐん—育つ
 (6) のこのこ—出かける すごすご—立ち去る ずかずか—入り込む さめざめ—涙を流す
 (7) ふらりと—現れる とぼとぼ—歩く しげしげ—見つめる ずけずけ—言う

- 2 (1) ①とんとん ②きっかり ③まちまち (2) ①ぬけぬけ ②おちおち ③おずおず
 (3) ①とぼとぼ ②どたどた ③てくてく (4) ①ぼんぼん ②ぼつりと ③ぶうぶう

- 3 (1) ○ (2) × しげしげと・まじまじと (3) × ゆらゆら (4) × ペこペこ
 (5) ○ (6) × ずかずか (7) ○

- 4 (1) こうこうと (2) ゆるゆるになった (3) ばんばんで (4) ちくちくする
 (5) しんなりして・しんなりとなって (6) じつとり(と)

III. 実践練習

1. [1] 1 [2] 3 [3] 2 [4] 3 [5] 2 [6] 4 [7] 3 [8] 1 [9] 4
 [10] 4

2. [1] 1 [2] 2 [3] 3 [4] 1 [5] 2
 3. [1] 3* [2] 1* [3] 4* [4] 1* [5] 1*

* [1] 1は「わざわざ」、2は「ぎくしゃく」、4は「どきどき」などが適切。

* [2] 2は「ぎっぱり」、3は「はっきり」「きちんと」、4は「ぎっしり」などが適切。

* [3] 1は「ぶかぶか」、2は「のこのこ」、3は「ばくばく」「勝手に」「ずずうしく」などが適切。

* [4] 2は「からりと」、3は「ずっと」「ぐっと」、4は「がくんと」などが適切。

* [5] 2は「はっきり」、3は「ぼそぼそ」、4は「ばくばく」「がつがつ」などが適切。

5章 オノマトペ 2課 人の様子②

I. 言葉と例文

1 b

II. 基本練習

- 1 (1) ごくごく—飲む ばくばく—食べる ぱたりと—やむ
 (2) すいすい—泳ぐ ほとほと—困る ごしごし—こする ころりと—負ける
 (3) ぽかんと—口を開ける ひしひし—伝わってくる あくせく—働く
 いそいそ—出かける

- 2 (1) ①びくびく ②いそいそ ③みすみす (2) ①せかせか ②あくせく ③あたふた
 (3) ①どぎまぎ ②まごまご ③やきもき (4) ①もんもん ②うかうか ③うずうず
 (5) ①どしどし ②するする ③どやどや (6) ①はればれと ②ぶすつと ③けろりと

- 3 (1) × あやふや (2) ○ (3) ○ (4) × すつと (5) × ますます

(6) × はっきりと・くっきりと (7) ○

- 4 (1) あやふやな (2) たじたじな (3) さばさばした (4) もんもんとしていた
 (5) うずうずしている (6) ねちねちした

III. 実践練習

1. [1] 3 [2] 3 [3] 3 [4] 1 [5] 3 [6] 4 [7] 4 [8] 3 [9] 4
 [10] 2

2. [1] 4 [2] 2 [3] 4 [4] 4 [5] 1

3. [1] 1* [2] 3* [3] 4* [4] 4* [5] 2*

* [1] 2は「むかっと」、3は「がくがく」、4は「ひょっこり」などが適切。

* [2] 1は「たびたび」、2は「ぶかぶか」、4は「あやふや」などが適切。

* [3] 1は「しみじみ」、2は「びくびく」、3は「しわしわ」などが適切。

* [4] 1は「ぐるっと」、2は「びっくり」、3は「ぼかんと」などが適切。

* [5] 1は「ほっと」、3は「はるばる」、4は「ほとほと」などが適切。

6章 慣用表現 1課 体の言葉を使った慣用表現①

I. 言葉と例文

- 1 「家^{いえ}に手^てを入れる」は、家^{いえ}を修理^{しゅうり}するという意味^{いみ}。
 「家^{いえ}を手^てに入れる」だと「家^{いえ}をかう」という意味^{いみ}になる。

II. 基本練習

- 1 (1) × 手を回^{まわ}して (2) ○ (3) ○ (4) ○

- (5) × 手を切^きる* (6) × 目^めにして (7) ○

* (5) 「不正^{ふせい}を行う会社^{おこな}と関係^{かいかい}を断^たつ」という意味^{いみ}なので、「手^てを切^きる」が適切^{てきせつ}。

- 2 (1) ①目 ②顔 ③首 ④鼻 (2) ①腕 ②肩 ③手 ④鼻

- (3) ①目 ②手 ③肩 ④口

III. 実践練習

1. [1] 4* [2] 3* [3] 3*

* [1] 「口^{くち}をつぐむ」で「何^{なに}も話^{はな}さないで黙^{だま}っている」という意味^{いみ}になる。「口^{くち}」以外^{いがい}には使^{つか}わない。

* [2] ここで使^{つか}われている「冴^さえる」は「頭^{あたま}の働^{はたら}きや体^{からだ}の調^{ちよう}子がよくなる、はっきりする」の意味^{いみ}。「耳^{みみ}」「気^き持ち」
 「手^て」には使^{つか}わない。「目^めが冴^さえる」で「意^い識^しがはっきりして、寝^ねられない」という意味^{いみ}。

* [3] 「尽^つくす」は「全^{ぜん}部^ぶ使^{つか}ってしまう」「ほかの人のため^{ひと}に一生^{いつしやう}懸命^{けんめい}努力^{どりよく}する」という意味^{いみ}がある。この意味^{いみ}で
 は「世^せ話^わ」「頭^{あたま}」と一緒^{いっしょ}には使^{つか}えない。「体^{たい}力^{りよく}」は「体^{たい}力^{りよく}を使^{つか}い尽^つくす」という表^{ひょう}現^{げん}ができるが、「体^{たい}力^{りよく}を尽^つくす」
 とは使^{つか}わない。「手^てを尽^つくす」は「問^{もん}題^{だい}を解^{かい}決^{けつ}するた^{ため}にあらゆる手^{しゆだん}段^{だん}を試^{ため}す」という意味^{いみ}。

2. [1] 1* [2] 2* [3] 2 [4] 2 [5] 4

* [1] [2]は、言^いい換^かえをする言^{こと}言葉^ばだけに下^か線^{せん}を引^ひいてあるが、「手^てに負^おえない」「口^{くち}を挟^{はさ}む」の形^{かたち}で慣^{かん}用^{よう}表^{ひょう}現^{げん}

として、おぼ^{おぼ}えること。

3. [1] 1 [2] 3 [3] 4 [4] 4 [5] 1 [6] 3 [7] 2 [8] 2 [9] 3
 [10] 3 [11] 2 [12] 4 [13] 4 [14] 4

6章 慣用表現 2課 体の言葉を使った慣用表現②・その他の慣用表現

I. 言葉と例文

- 1 気^きが(合^あう/置^おけない)友^{とも}人のこと^{こと}です。「親^{おや}友^{とも}」とは、(腹^{はら})を割^わって話^{はな}せます。

II. 基本練習

- 1 (1) ○ (2) × 腹^{はら}を讀^よむ (3) × 胸^{むね}が詰^{つま}まって (4) × 気^きに病^やむ

- (5) ○ (6) ○ 懐^{なつこ}が寒^{ひや}い (7) ○

- 2 (1) ①気 ②懐 ③心 ④足 (2) ①虫 ②足 ③身 ④息

- (3) ①花 ②芽 ③尾 ④根

III. 実践練習

1. [1] 3* [2] 4* [3] 2*

* [1] は「ぶつかる」、2は「頭^{あたま}が疲^{つか}れる」など適切^{てきせつ}。3は「気^きに障^{さわ}る」で「気^き分^{ぶん}を害^{がい}する」の意味^{いみ}。4は、「食^たべ
 すぎはおなかに障^{さわ}る」などのよう^{しゆうせい}に修^{てきせつ}正^{ぶん}すれば適切^{てきせつ}な文^{ぶん}となる。

* [2] 「くくる」の基^き本^{ほん}的^{てき}な意^い味^みは、「ばらばらのもの^{ひと}を一つにま^なとめ^らる」「何^{なに}かに縛^{しば}る」という意^い味^み。た^ただ^だし、
 2と3のよう^な、「考^{かんが}えをま^なとめ^らる」、「人^{ひと}と人^{ひと}の心^{こころ}を結^{むす}びつ^つける」という意^い味^みの使^{つか}い方^{かた}はし^かない。「覚^{かく}悟^ごを決^きめ
 る」という意^い味^みで「腹^{はら}をくくる」と言^いうが、「懐^{なつこ}をくくる」とは言^いわない。

* [3] 「紛^{まご}らわす」は「気^き持^{もち}ちなど^なをほかに移^{うつ}してわ^わか^から^らなく^くする。ごま^ごか^かす」という意^い味^み。前^{まえ}に來^くる言^{こと}言葉^ばは、「心^{こころ}
 「涙^{なみだ}」などではな^なく「不^ふ安^{あん}」「悲^{かな}しみ」などの気^き持^{もち}ちを表^{あらわ}す言^{こと}言葉^ばになる。また、3のよう^な「人^{ひと}をごま^ごか^かしてだ^だま^ます」
 という意^い味^みでは使^{つか}わ^ない。

2. [1] 2 [2] 1 [3] 2 [4] 1 [5] 4

3. [1] 3 [2] 1 [3] 3 [4] 4 [5] 3 [6] 2 [7] 2 [8] 2 [9] 4

- [10] 1 [11] 1 [12] 4 [13] 4 [14] 3

7章 語形成 1課 複合動詞①

I. 言葉と例文

- 1 見逃^{みぬ}す

II. 基本練習

- 1 (1) 悩^{なや}み・秘^ひ密^{みつ}・思^{おも}い・愛^{あい}・気^き持^{もち}ち—を打^{うち}明^めける

責^{せき}任^{にん}・考^{かんが}え・負^お担^{たん}・仕^し事^じ—を推^{おし}し付^{つけ}ける

運^{うん}転^{てん}・参^{さん}加^か・購^{かう}入^{にゅう}・開^{かい}催^{さい}—を見^み合^あわ^わせ^せる

状^{じやう}況^{きやう}・本^{ほん}質^{しつ}・能^{のう}力^{りよく}・価^か値^ち—を見^み極^{ごく}め^める

- (2) 力・金・運・資源・燃料—を使い果たす
波・人・客・不安・疲れ—が押し寄せる
味・色・魅力・個性・作品—が引き立つ
タイミング・時間・時期—を見計らう
反対・抵抗・(反対の)意見—を押し切る

2 (1) ①見逃して ②見落として ③見過ごす

(2) ①取り扱って ②取り組んで ③取り上げられて

(3) ①追い払って ②追い込まれた ③追い詰められた

(4) ①引き上げられた ②引き下がって ③引き落とされる

3 (1) b (2) b (3) b (4) a (5) a (6) a (7) a (8) b

4 (1) 締めて (2) 抜かれて (3) 掛かり (4) 寄せて (5) 張って (6) 合った

III. 実践練習 >>>

1. ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 2 ⑥ 1 ⑦ 4 ⑧ 2 ⑨ 3
⑩ 4 ⑪ 1 ⑫ 4 ⑬ 4

2. ① 1 ② 2 ③ 1

3. ① 3* ② 1* ③ 2*

* ① 1は「訪ねてきて」「来て」、2は「押し付ける」、4は「押し切って」が適切。

* ② 2は「打ち明ける」、3は「使いこなして」など、4は「打ち込んで」が適切。

* ③ 1は「言い返した」、3は「言い張って」など、4は「知らせた」などが適切。

7章 語形成 2課 複合動詞②

I. 言葉と例文 >>>

1 駆け込み

II. 基本練習 >>>

- 1 (1) 被害・進行・減少・破壊—を食い止める 原因・正体・居場所・犯人—を突き止める
証言・話・意見・内容—が食い違う 時間・能力・力・金—を持って余す
(2) 弱み・ミス—に付け込む 列・席・話—に割り込む ショック・不況—から立ち直る
費用・代金—を立て替える 話・別れ—を切り出す

2 (1) ①食い違つて ②かみ合わない ③切り出した

(2) ①食い込む ②付け込んで ③突っ込んで

(3) ①溶け込んで ②巻き込まない ③呑み込め・呑み込めれ

(4) ①折り返します ②切り替えた ③立て替えて

(5) ①乗り切る ②立ち直れない ③開き直った

3 (1) b (2) b (3) a (4) b (5) a

- 4 (1) 詰まって (2) 出して (3) 支える (4) 合おう (5) 込んで (6) 渡つて
(7) 立てて (8) 止めた

III. 実践練習 >>>

1. ① 3 ② 1 ③ 4 ④ 3 ⑤ 3 ⑥ 3 ⑦ 2 ⑧ 2 ⑨ 1
⑩ 1 ⑪ 4 ⑫ 3 ⑬ 2

2. ① 2 ② 3 ③ 2

3. ① 4* ② 2* ③ 1*

* ① 1は「突っ込んだ」、2は「突っ込み」、3は「食い込んで」が適切。

* ② 1は「回りました」など、3は「渡れば」、4は「届いた」が適切。

* ③ 2は「呑み込んで」「理解して」など、3は「溶け込んで」、4は「割り込まないで」が適切。

7章 語形成 3課 接尾辞・接頭辞

I. 言葉と例文 >>>

1 観

II. 基本練習 >>>

1 (1) ①派 ②系 ③帯 ④網 ⑤圈 ⑥層

(2) ①観 ②欲 ③味 ④策 ⑤視 ⑥源

(3) ①当 ②私 ③猛 ④純 ⑤誤 ⑥原 ⑦過 ⑧活

(4) ①生 ②乱 ③試 ④双 ⑤真 ⑥深 ⑦広 ⑧即 ⑨養 ⑩微

(5) ①越し ②任せ ③柄 ④心地 ⑤がい ⑥ぐるみ ⑦並み ⑧目 ⑨盛り ⑩丸
⑪素

2 (1) b (2) b (3) a (4) a (5) a (6) b (7) a (8) b

3 (1) 名刺と同じ大きさ (2) 小学生と同じレベル (3) 家が並んでいる様子
(4) 家族みんなで (5) 性格 (6) はだし (7) 成長期 (8) 真面目すぎる

III. 実践練習 >>>

1. ① 4 ② 3 ③ 1 ④ 1 ⑤ 1 ⑥ 3 ⑦ 2 ⑧ 2 ⑨ 4
⑩ 3 ⑪ 3 ⑫ 2 ⑬ 2 ⑭ 1 ⑮ 1

2. ① 2 ② 3 ③ 2 ④ 2 ⑤ 2

模擬試験

第1回

1. ① 4 ② 3 ③ 2 ④ 1 ⑤ 4 ⑥ 2 ⑦ 2

2. 1 3 2 2 3 2 4 1 5 2 6 3

3. 1 3 2 2 3 1 4 3 5 4 6 1

第2回

1. 1 4 2 3 3 4 4 4 5 2 6 4 7 2

2. 1 4 2 2 3 4 4 2 5 4 6 3

3. 1 2 2 3 3 4 4 1 5 3 6 4